

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレンズ		
○保護者評価実施期間	2025年1月13日		～ 2025年1月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年1月13日		～ 2025年1月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の発達やライフステージに応じた支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 様々な年齢層の児童が興味を持てる活動も検討しつつ、児童一人ひとりの発達状態や学校での支援内容を把握し、集団・個別活動を提供している。 高等部卒業後の進路を踏まえた活動や作業の提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりのアセスメント能力が向上するよう、研修や実践を積める環境を整えていく。 保護者や学校、他関係機関との情報共有を密にし、統一した支援が行えるよう努めていく。
2	法人内他部署等との繋がり	<ul style="list-style-type: none"> 同法人内に成人分野部署を有している為、行事で関わる機会を設け、児童が卒業後のビジョンを想像出来るよう促している。 児童の心理学を専門とする講師を招聘し、保護者の悩みや児童の行動心理について講演していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事以外でも成人分野部署へ見学に行く機会を設ける。 成人施設での体験の機会を設けたり、保護者に向けた成人サービスの説明会なども企画していく。
3	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や学校、他放課後等デイサービス等との関わりを密にし、統一した支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 葵区駿河区放課後等デイサービス連絡会への参加は継続し、他事業所との繋がりを維持する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民等との交流機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 公園等の利用はしているが、保安上のリスクや児童の特性を考慮し、利用者が少ない場所を活動場所に選んでいるため、偶にしか地域住民との接点生まれにくい。 コロナ禍以降、児童館等の利用がなくなっている。 自宅送迎時間との兼ね合いもあり、地域と関われるほどの活動時間が確保出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援や公共交通機関の利用等外出活動の機会を増やし、その中で地域住民等と関わりを持てるよう配慮していく。 地域の社会資源を開拓し、児童の特性に配慮しながら利用を進めていく。
2	保護者同士の交流や保護者会の機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者講演会は開催しているが、参加者が減少傾向にある。 コロナ禍以降、ファミリーミーティングの開催が見送られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者講演会等保護者参加型の企画に関しては、SNSを活用し情報発信を強化していく。 保護者交流時の内容や頻度、開催方法を保護者のニーズを把握しながら検討していく。
3			